



# 新市全体での取り組み ①

新市地域らしさ価値↑

誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか  
独創企業が生まれ育つ都市

新市地域らしさ価値を  
高める視点

重点実現項目

## 見極める

アイデンティティの確立・一貫性

新ながおかが誇る技と人を  
ネットワークする匠の国を創り上げる  
～地域が誇る産業と技を核として地域と人とを連携する～

## 発信する

情報発信力強化・機会の多様化

新しいビジネスモデルで  
made in NAGAOKAの魅力を世界に発信する  
～社会を常にリードする価値創造型製造業の育成と振興～

## 育てる

人材育成・ブランド育成

市民チャレンジャーの成功と雇用を支える  
新たな起業促進の風をおこす  
～起業やベンチャー企業育成を支援するシステムの整備・充実～

未来のエジソンを生む人材教育・人材育成の推進  
～産業革新に貢献する人材育成を目指した教育と社会支援の実施～



第3部で紹介した、4つの新市地域らしさ価値を高めるための重点課題（重点実現項目）を達成していくために、新市全体で取り組む活動展開を以下に示します。

この新市全体で取り組む活動展開は、＜各地域の活動展開の連携＞＜30万人都市だからこそできる活動＞＜市民と行政が一体となって取り組む活動＞を視点とし、検討した結果をまとめたものです。

新市全体で取り組む活動展開	展開の例
<ul style="list-style-type: none"> <li>★高付加価値の新技术・新製品の開発を生む、世界に誇る産学官協働ネットワークの構築</li> <li>★ネットワーク強化等の流通革命、交通拠点創造の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 企業を支える地域ぐるみのネットワーク構築；起業資金融資や保険制度の充実、経営技術提供等のバックアップ体制の充実 技術情報連携センターの展開</li> <li>→ 超高速情報通信網の整備による電子商取引市場の創設 新たな高速道路インターチェンジ整備による物流の強化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>★世界中に made in NAGAOKA の製品価値を伝えるプロモーション活動の推進</li> <li>★海外からの技術者も快適に過ごせる情報・交流・滞在環境の整備と発信</li> <li>★伝統技術と地場産業の連携による新たな高付加価値商品の創出</li> <li>★長岡地域を代表する産業の技術資源を活用し、競争力あるコア産業とするための拠点づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 最先端のIT技術を活用した多角的な広告宣伝活動 世界のホテル機能を活用した情報ネットワークの構築</li> <li>→ 優秀な技術者が新ながおかに集い、滞在・交流できる“技術者村”の展開</li> <li>→ 織物技術を応用した耐火新素材開発 酵母技術を応用した新リサイクル技術の開発</li> <li>→ ファッションや工業製品等に関するデザイン研究機関の展開 各地域での長岡造形大学の研究開発機能の展開</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>★世界の大学や企業とも連携した新産業やビジネスモデル（新たな市場づくり）の開発促進</li> <li>★新たな雇用を創出する創業環境の整備・促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ベンチャー企業と世界の大学や企業を結び付け、新産業を創造</li> <li>→大学の研究成果を企業に移転する機関、地域総合大学院の展開</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>★国内外の大学との交流や留学生の受け入れ環境の整備推進</li> <li>★産業界が求める人材像（創造力、異文化理解、語学力）に即した高度教育の推進</li> <li>★義務教育時から産業界の人材による教育を行う、地域の人材を磨く仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 社会人が国内外の大学に短期留学できる仕組みづくりと支援</li> <li>→ 理数系、語学、経営技術に特化した中高一貫校の創設、学生の海外留学支援</li> <li>→ 世界に適用するIT技術者を育てる養成学校の展開</li> <li>→ 優秀な研究者・民間人を学校教育の教員・講師に登用 企業人が再学習できる機会の提供 企業・地域が支える子どもの発明科学学習拠点への展開</li> </ul>





# 新市全体での取り組み ②

新市地域らしさ価値を  
高める視点

重点実現項目

## 見極める

アイデンティティの確立・一貫性

## 「新ながおか元気印ブランド」の創造による 「食の付加価値」の確立

～地域農産物や酒、農産加工品、郷土料理を組み合わせた  
新ながおかメニューの開発～

## 発信する

情報発信力強化・機会の多様化

## おいしさと安全・健康をキーワードとする 「新ながおか料理」の発信

～おいしさに加え、健康増進、安全・安心等の生活価値観に即したブランドを  
開発し、全国に向けて強く発信することによって日本の食卓を変える～

## 育てる

人材育成・ブランド育成

## 虫が舞い、人の豊かな営みが展開する 「食」「農」のユートピアを生み出す

～信濃川をはじめとする豊かな水や土壌を守り、その恵みによる米作りや  
新しい「食、のあり方」を提案する「スローフード（風土）」の振興～

新市地域らしさ価値②

まごころ米の生まれる里・新ながおか  
元気に満ちた米産地





第3部で紹介した、4つの新市地域らしさ価値を高めるための重点課題（重点実現項目）を達成していくために、新市全体で取り組む活動展開を以下に示します。

この新市全体で取り組む活動展開は、＜各地域の活動展開の連携＞＜30万人都市だからこそできる活動＞＜市民と行政が一体となって取り組む活動＞を視点とし、検討した結果をまとめたものです。

新市全体で取り組む活動展開	展開の例
<ul style="list-style-type: none"> <li>★長岡地域の米をはじめとする農産物・農産加工品のブランド開発</li> <li>★「人を健康で元気にする」新ながおかブランドの価値の明確化</li> <li>★土づくりを極め、安心安全な農産物ブランドの育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ながおか産コシヒカリを日本のトップブランドとする取り組み</li> <li>→減農薬減化学肥料栽培の全市への拡大 地元食材を活用した市民のための健康メニューの開発</li> <li>→土づくりセンターの展開による土づくり活動の推進</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>★生産者の「心と顔」が見えるITを活用した販売手法の確立</li> <li>★「新ながおか名物セット」の開発や外食産業等とタイアップした普及促進</li> <li>★美しい農村地域の実現と地域の特産品や伝統の技を活用した究極の食開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ICタグの活用による生産履歴表示活動標準化と在庫管理・販売促進への展開</li> <li>→ホテル、レストラン等での新ながおかフルコースメニューの開発</li> <li>→はざかけ米+おいしい水+酒蔵=究極の酒 あぜ道に四季折々の花が咲く農村環境創出</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>★高付加価値型農産加工業の育成支援</li> <li>★農業体験と観光産業の連携により地域内外で地産地消を促進</li> <li>★次の世代につなげる魅力ある農業を担う人材の育成と確保</li> <li>★地産地消や地域文化、「技」を継承し、発展させていくための活動の推進</li> <li>★農村文化の継承や農村の活性化</li> <li>★環境に配慮した地域循環型の生産・消費生活を推進するための技術交流と普及活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→バイオテクノロジーを活用した食品開発を行う研究機関の展開</li> <li>→グリーンツーリズムを通じた新ながおかフードファンクラブの展開</li> <li>→農業ブランドをリードする地域の人材ネットワーク形成の支援</li> <li>→地域の食や特産品を一同に集めた新ながおか物産館の展開 地産地消推進店の展開 新ながおかの食材で新ながおか“いち（市）”の発信</li> <li>→地域コミュニティの連携による農村景観の保全・継承 NPOによる古民家レストランの運営</li> <li>→水質保全の徹底 リサイクルの推進を図るごみ発電施設の展開 蛍が飛び交いめだかが多く棲む小川の再生</li> </ul>





# 新市全体での取り組み ③

新市地域らしさ価値3

世代が  
つながら  
る安住  
都市

未来人を育む資源博物館・新ながおか

新市地域らしさ価値を  
高める視点

重点実現項目

## 見極める

アイデンティティの確立・一貫性

「生きる楽しみ」「育つ喜び」が  
実感できる生活環境の創出

～すべての世代が住みたくなる住環境の実現～

## 発信する

情報発信力強化・機会の多様化

「元気に老いる」熟年力を活かしたまちづくりの推進

～身体の健康だけでなく、精神的な活力を活かす場を創り、  
すべての世代が元気なまち～

地球を想う「未来人」育成・発信地域の創出

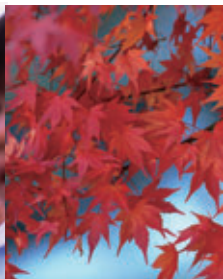
～子どもの力・自立した活動を地域全体で伸ばし、発信する地域づくり～

## 育てる

人材育成・ブランド育成

「子育て・教育」の分野で日本のモデル地域となる  
「21世紀の米百俵プログラム」の開発・推進

～地域の宝、子どもたちをみんなで育てるまちづくり～



第3部で紹介した、4つの新市地域らしさ価値を高めるための重点課題（重点実現項目）を達成していくために、新市全体で取り組む活動展開を以下に示します。  
この新市全体で取り組む活動展開は、＜各地域の活動展開の連携＞＜30万人都市だからこそできる活動＞＜市民と行政が一体となって取り組む活動＞を視点とし、検討した結果をまとめたものです。

新市全体で取り組む活動展開	展開の例
<ul style="list-style-type: none"> <li>★自然の力、人の心などに着目した新たな予防医療の充実</li> <li>★住宅地の緑や自然環境の保護によるゆとりある住環境の奨励と支援</li> <li>★地域の豊かな暮らしのための住民満足度や達成度の評価ができるシステム整備</li> <li>★多様なライフスタイルを可能にし、人生を豊かにする暮らしづくり</li> <li>★環境と共生する「ごみゼロ」社会の創出や新エネルギー活用</li> <li>★コミュニティや人の“わ”を生かした、自然環境保全、子育て支援、人材育成の構築</li> <li>★人々の生活を守る交通の安全性・快適性を追求したまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 豊かな自然を生かした森林浴などの癒しの場の設置、市民カウンセラーの育成</li> <li>→ 市民による行政顧客満足度調査の導入 市民の意見を行政に活かす100人会議 市民力による犯罪ゼロのまちへの取り組み</li> <li>→ 自然の中の住宅地の創造 第二の故郷づくり、週末セカンドログハウス村の展開</li> <li>→ 不法投棄ゼロへの取り組み 環境先進都市に向けたりサイクルの取り組み 企業の環境ISO認証取得の促進・支援</li> <li>→ 身近な道路の安全性確保と歩くのが楽しい歩道の整備 花と触れ合える歩道の整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>★すべての世代が活発に交流するコミュニティや施設、まちづくりの推進</li> <li>★民間資本やNPO、ボランティアを活用した福祉の拡充</li> <li>★高齢者の持っている経験豊かな知恵を生かせる場の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 多世代型生涯学習コミュニティ施設の展開</li> <li>→ オープン型福祉施設の展開</li> <li>→ 多様な分野のシルバーインストラクター登録と活用の機会づくり</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>★子どもたちの才能を早期に見出し、地域で伸ばす仕組みづくり</li> <li>★子どもの豊かな発想を社会に反映させるシステムの全国展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 全ての子どもの興味・特性を見つける米百俵教育システムの開発</li> <li>→ 全国子ども会議開催や「未来の地球人ながおか賞」などの子ども顕彰制度づくり 子どもの幸せと健やかな成長を願う子ども条例の制定 親子で見て触れて体験する子ども体験ミュージアムの展開</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>★出産・育児・教育に最適な環境をつくる</li> <li>★地域住民による歴史・自然・伝統文化を活かした地域学校教育のプログラム開発と実践</li> <li>★医療・福祉・育児・家事支援サービスを提供する生活関連産業の重点育成</li> <li>★日本一の通学（楽）環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 0歳児保育の充実・待機児童ゼロの実現、新教育システムの開発</li> <li>→ 自然と動物に触れ合える公園の創出</li> <li>→ ITを活用した遠隔医療ネットワークシステムの導入 24時間体制の保育所や子ども専門病院、総合福祉大学の展開 個人の医療情報の電子管理による終身健康管理システムの展開</li> <li>→ 学校が楽しくなる芸術作品の通学路への展示や安全安心な通学路の環境整備</li> </ul>





# 新市全体での取り組み ④

新市地域らしさ価値を  
高める視点

重点実現項目

## 見極める

アイデンティティの確立・一貫性

地域資源を活用した  
新ながおか※コンベンション・シティの創設  
～地域資源・特性を活用した地域内外の交流機会の創設～

※「コンベンション・シティ」=種々の会議やイベントを開催する環境を備え、それらの開催をもって地域発展の基礎としての都市

## 発信する

情報発信力強化・機会の多様化

すべての市民が「新ながおか親善大使」

～地域の伝統文化、魅力をテーマとしたイベントの開発と実施～

## 育てる

人材育成・ブランド育成

「暮らしたい」「働きたい」「遊びたい」……

魅力あるまちを目指す

～すべての市民が「新ながおか」に誇りを持てる都市の実現～

新市地域らしさ価値 4

「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか  
世界をつなぐ和らぎ交流都市



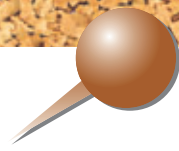
第3部で紹介した、4つの新市地域らしさ価値を高めるための重点課題（重点実現項目）を達成していくために、新市全体で取り組む活動展開を以下に示します。

この新市全体で取り組む活動展開は、＜各地域の活動展開の連携＞＜30万人都市だからこそできる活動＞＜市民と行政が一体となって取り組む活動＞を視点とし、検討した結果をまとめたものです。

新市全体で取り組む活動展開	展開の例
<ul style="list-style-type: none"> <li>★新ながおか交流革命の実現（30万人の先進的な都市機能エリアの創出）</li> <li>★憩いの場として多彩な交流が生まれる水辺空間の創造</li> <li>★ながおかの地域コミュニティ・世界との交流によるまちづくりで、広く、豊かに人が育つ環境づくり</li> <li>★歴史・まつり、人、特産品を提供する、遊び・楽しみを連動した観光ネットワーク開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 世界直結の交通ネットワークづくり 国際コンベンションセンターや全天候型スポーツフィールドの展開 国際的なスポーツ大会を開催</li> <li>→ 信濃川での水上バス運行と市民が憩える新たな水辺拠点づくり</li> <li>→ 青年海外協力隊をはじめとする海外ボランティア活動への参加支援</li> <li>→ 地域神楽舞共演、新ながおか歴史ミュージカルの創作・公演</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>★「酒」「花火」「食」「雪」サミットなどで「新ながおか」の魅力を発信</li> <li>★利雪・親雪で豪雪地帯を観光資源として発信</li> <li>★各地の特色あるまつりやイベントの掘り起こしと連携による独創的なまつり・イベントの開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 国際日本酒見本市の開催 ドーム型生活体験テーマパーク</li> <li>→ 新しい雪観光等のホワイトツーリズム開発 雪の芸術祭の開催 雪室による特産品開発</li> <li>→ 新ながおか花火旬間の設定による各地域の花火の競演 各地域の歴史をCGで再現し、ストーリーを発信 各地域のまつりを集結した新ながおかもつりの競演</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>★各地域の自然・伝統・文化を連携した新たな観光メニューの創出</li> <li>★訪れたい地域になるための地域が一体となった魅力度の向上</li> <li>★地域の魅力を認識し、人に伝える交流人材ともてなし体制の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 風景と音楽、自然と演劇等を組み合わせた芸術祭開催</li> <li>→ 300年後の世界遺産を目指した自然環境保護の取り組み</li> <li>→ 30万都市のシンボルとしての長岡駅周辺都市開発の促進 「まちの案内人」の制度拡充、通訳ボランティアの育成、民泊を促進する取り組み 観光開発の仕掛け人を活用した新ながおか観光メニューや拠点開発</li> </ul>







## 【21世紀型ビジネスの芽】

環境と健康はこれからの企業の評価や、ユーザー吸引力になることは間違いありません。こうした潮流に配慮してISO資格を取得する企業が増加し、自治体などにグリーン購入も広がっています。また、環境、健康に焦点を当てた商品は堅調なことから、企業も重点的に企画開発を行っています。

新ながおか地域の豊かな自然は、良質な食材提供地としての裏付けになっていて、日本酒、製菓など加工品の生産地としてのメリットにもなっています。この資源は、観光、教育などの面でも多様な活用がありますが、新しいニーズの商品開発、製造においても可能性に満ちています。

### 自然は健康・環境ビジネスの宝庫

アレルギーや化学物質過敏症対策は、年々ニーズが高まっています。改善と対策には衣食住全般にわたるアプローチが必要ですが、その一つが住環境の化学物質の排除、削減といわれます。平成15年7月からは改正建築基準法で、建材、家具からの化学物質の揮発量が規制されるようになりました。こうした動向やニーズをふまえて、自社独自の基準をうちだして商品価値を高めていこうとする建材・家具メーカー、建築業者も少なくありません。

新ながおか地域には、伝統を受け継いだ木工の技、良質な国産材という資源があります。これらの活用は、現代の健康ニーズに応えるだけではありません。山林保護、水源の確保という自然環境保護にもつながり、商品としてより高い評価が得られます。

ここで木材と住関連商品の開発事例をご紹介します。アレルギー・化学物質過敏症対策の商品として評判の国産天然素材「未晒し蜜ロウワックス」です。全国の小学校や保育園、幼稚園などで使用されていて、個人の住宅や医療施設での需要も見込まれています。

原料はミツバチの巣である蜜ロウと植物油（エゴマ油）で、三重県尾鷲市の元製材業者が養蜂業者の協力で開発しました。きっかけは、地元材で建設された小学校を見学したときに化学塗料で気分が悪くなったという個人の体験です。試行錯誤を重ねて完成をみましたが、木材と養蜂という二つの仕事の知識と経験の融合で生まれた商品です。

